

第 16 回千葉県福祉機器展 2022

「みんなの今を支えて未来を変えていくアイテムたち」 ～福祉もくらしもテクノロジーでどんどん変わる～

開催概要

千葉県福祉ふれあいプラザ

千葉県・千葉県福祉ふれあいプラザでは、福祉用具の普及啓発を目的として毎年「千葉県福祉機器展」を開催していますが、本年度は前年度を踏襲し介護ロボットを含むテクノロジー普及啓発フォーラムと福祉とくらしの機器に関する展示会、セミナー、ワークショップを企画致します。

ただし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や時勢により、開催内容を変更する場合があります。

1. 趣 旨

- ① ハイテクノロジーを活用した介護ロボットや、高齢者を中心とするあらゆる世代に対応した福祉機器および一般医療機器や健康機器等の新たな情報の提供と啓発を目的とした、体験できる展示会を開催する。
- ② アクティブシニアや子ども、学生など、さまざまな世代に対して経験的な理解を促進するためのセミナー、ワークショップを開催する。
- ③ 専門職、開発者、メーカー等を対象としたテクノロジーの理解とツール普及の促進につなげるためのフォーラムを開催する。
- ④ 福祉関係職能団体、研究機関、臨床機関、大学、等の協力を得て、福祉機器、テクノエイド普及のためのプラットフォーム的拠点となるためのアンカリングイベントとして開催する。

2. 主 催 千葉県・千葉県福祉ふれあいプラザ (千葉県我孫子市本町 3-1-2 けやきプラザ内)

協 力 テクノエイド協会
産業技術総合研究所人間拡張研究センター
千葉県千葉リハビリテーションセンター
全国福祉用具相談・研修機関協議会
全国福祉用具専門相談員協会
日本福祉用具供給協会
日本補聴器販売店協会
千葉県在宅サービス事業者協会
かながわ福祉サービス振興会
我孫子市介護サービス事業者連絡協議会
介護老人保健施設回生の里

後援予定 我孫子市 柏市 野田市 流山市 松戸市 印西市

3. 会 期 2022 年 11 月 19 日 (土) 9 時 30 分～16 時 30 分

4. 会 場 けやきプラザ1階・2階・7階・エントランス広場
(〒270-1151 千葉県我孫子市本町3-1-2・JR常磐線我孫子駅南口徒歩1分)
5. 出展料・入場料 無 料
6. 来場見込み 500人程度
対象：医療・福祉関係者、関係領域専門学部生、アクティブシニアや一般の方等
7. 内 容
- 1) 展示会
- ・ 出展種目 介護ロボット等ハイテクノロジー福祉機器、モバイル、デバイス、ウェアラブル電子機器、パラスポーツ用ギア、生活支援など、さまざまな福祉用具、機器等を幅広く出展
 - ・ 出展規模 30ブース程度（会場等配置を勘案）
テーマ、コンセプトに沿った出展者を事務局にて選考、依頼、調整を行う
 - ・ 予定会場 けやきプラザ1階 正面広場、エントランス、体験コーナー、工作室
けやきプラザ2階 ふれあいホール、ギャラリー1、ギャラリー2
- 2) セミナー
- ・ 子ども、親向け
 - ① パラアスリート、パラヒーロー・トークショー10:50~11:50
日本パラ陸上競技連盟 副理事長 パラリンピアン 花岡伸和 氏
概要：福祉用具は「使いたくて使う道具」ではなく、疾病や障害によって「使わざるをえなく使う道具」という実態があり、マイナスのイメージを持ちやすい。しかし、昨年のパラリンピック東京大会のアスリートたちや、ドラマで福祉用具ユーザーが役として演じられたり、その啓発のために子ども向けパラヒーロー番組などが制作されるなど、「障害や福祉用具を使用している、より素晴らしい、カッコいい存在、ヒーロー、ヒロインになれる」というインクルーシブな人間観が描かれるようになった。パラリンピアンや番組制作スタッフによるセッションによって前述の既成概念を払い、または既成概念をアップデートできるような「カッコいい」から福祉用具をしてみるセッションを行う
 - ・ アクティブシニア向け
 - ② 聞こえの保障セミナー「コミュニケーションが生活と人のバリアを取り除く」12:50~14:20
テクノエイド協会 普及部長 試験部長 矢沢由多加 氏
日本補聴器販売店協会千葉県支部によるさまざまな補聴器の紹介
概要：聴覚の障害はコミュニケーションの低下だけでなく、自尊感情、帰属意識の低下による孤立化を招く。こと最新の認知症研究では、聴覚の障害、低下により認知症がより進行してしまうことが指摘されている。そのための「聞こえの保障」の重要性と、手に取りにくい「補聴器」の利用を啓発するために、講話とともにさまざまな補聴器を紹介する
 - ③ ウェアラブル・デバイスツール・アプリセミナー14:50~15:50
関係専門機関 APTeh 代表取締役 大西一朗 氏
概要：介護予防や健康づくりの意識が高い、現役世代からアクティブシニアを対象に、予防学的見地から、健康や身体状態の可視化、数値化、それらに基づくアドバイスなど、健康管理アプリケーションソフト、また最新のウェアラブル（装着型）ツール、デバイス（遠隔型）ツールの紹介や活用法についての情報提供、啓発を行う
- ・ 予定会場
けやきプラザ7階 介護実習センター研修室

3) ワークショップ

・産業技術総合研究所人間拡張研究センター・ワークショップ

専門学部生等のためのワークショップ テーマ「ヘルプパッド」株式会社 aba (仮)

セッション1 10:00~12:30 4グループ程度 ※ 各G 4~5名・ファシリテーター1名

セッション2 13:30~16:00 4グループ程度 グルーピングは産総研・事務局にて勘案

- ① 産総研渡辺先生のイントロダクション
- ② テーマの機器についての情報提供
- ③ グループワーク
- ④ シェアリング

・予定会場

けやきプラザ内 1階 千葉県障害者相談センター会議室

・県内の関係領域専門学部を有する大学や高校に所属する学生を対象とし事前申し込み

4) フォーラム

・プログラム 13:00~15:45

ご挨拶と趣旨説明 13:00~13:05

スピーチ1 「経済産業省の考える未来のわたしたちの生活」 13:05~13:35

経済産業省 医療・福祉機器産業室 宇垣祐貴子 氏 (仮)

スピーチ2 「福祉用具とロボットテクノロジーが未来のわたしたちの生活をどう変えていくか」

13:40~14:10

産業技術総合研究所人間拡張センター 上席主任研究員 松本吉央 氏

セッション 「今と未来をどうつないでいくか・みんなの生活のグランドデザイン」

14:15~15:45

経済産業省 医療・福祉機器産業室 宇垣祐貴子 氏

産業技術総合研究所人間拡張センター 松本吉央 氏

千葉県千葉リハビリテーションセンター地域リハ部長 田中康之 氏

全日本空輸株式会社 (ANA) 未来創造室 MaaS 推進部

Universal MaaS プロジェクト マネージャー 大澤信陽 氏

千葉県環境生活部循環型社会推進課環境保全活動推進班長 久保田隆志 氏

概要: 福祉用具および福祉機器、ならびに介護ロボットを中心としたテクノロジーの開発実証普及は、厚生労働省と経済産業省が協力連携をしながら推進している。昨年度、厚生労働省からの未来の生活にどのように福祉用具・介護ロボットを活用していくかについて講演頂いた。今年度は経済産業省の考える未来像について講演頂き、介護ロボットからさらに拡大し、人間拡張 (HA) の観点から、わたしたちの生活にテクノロジーがどのように広がっていくかを松本先生に講演いただく。

それを受けて、ANA などでユニバーサル・モビリティの研究、実証実験などを行う大澤氏、千葉県の地域リハ推進をリードする田中氏、県内の循環型社会を推進、構築していく久保田氏を交え、テクノロジーとサステナビリティを含めた未来の生活のグランドデザインを探り、そこにおける福祉機器を含むツールの役割や意義について考える

・予定会場

ふれあいホール内会場

他、開催規模および企画によりセッション数テーマ等は勘案

事務局 千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センター 担当 西野雅信

〒270-1151 千葉県我孫子市本町3-1-2 けやきプラザ1階

【TEL】04-7165-2886

【FAX】04-7165-2882

【mail】kajitsu@furepla.jp